

「企業の森」かわら版

No.6

Spring & Summer

2022



「サントリー天然水の森（奥多摩）」

Contents

Spring &
Summer2022

企業の森の「いま」

2022年 春、夏・企業の森の様子

- (1) 暑い「いま」だからこそ涼しいお話
【サントリー天然水の森（奥多摩）】 . . . 3
- (2) すっきりした青梅法人会の企業の森
【企業の森・公益社団法人青梅法人会（長淵）】 . . . 4
- (3) 除伐・大きなハチの巣を発見
【企業の森・カナデン（青梅）】 . . . 5

花粉の少ない森づくり運動

News & Information

- 【企業の森・東栄住宅（青梅富岡）】
で開始式を行いました . . . 6
- 【企業の森・いなげや（日の出）】
で植樹イベントを行いました . . . 7
- 【エコロじいの森（青梅黒沢）】
で下刈りイベントを行いました . . . 8
- 【日本事務器・あきる野引田 企業の森】
で自主イベントを行いました . . . 9
- 【企業の森・公益社団法人青梅法人会（長淵）】
で自主イベントを行いました
- ちょっと一休み「暴れ木のお話」 . . . 10

(1) 暑い「いま」だからこそ涼しいお話

【サントリー天然水の森(奥多摩)】



タヌキの足跡？

そして暑い「いま」

夏を迎え、真っ青な空の下、きっと何か面白いものが見つかることでしょう。
また、その時は皆様に報告いたします！

2月下旬都内各地で雪が降りました。
森づくり運動担当がいる庁舎（青梅）
周辺の積雪は約2cm。
ここ檜原村の積雪は、およそ30～
40cm。
企業の森の見回りの折には写真（左）
のとおりくっきりと動物の足跡が。
恐らくタヌキではないかと思われ
ます。



フキノトウ

さらに1週間後に訪れた同じ場所。
すっかり雪も解け、そこでフキノトウ
を見つけました。
春の訪れを感じた一瞬でした。



企業の森の「いま」
春、夏、企業の森の様子
2022



除伐後の様子

おっと！
肝心なお話を忘れるところでした！

サントリー天然水の森は、今年で12
年目を迎えます。針葉樹部分の※除伐
を行い、森はすっきりと明るくなり、
これにより下層植生の成長が促され、
多様性のある森に成長していくこと
でしょう。

※除伐とは、曲がった樹木や成長の悪い樹
木を除去し、下層植生の成長を促すこと。

(2) すっきりした青梅法人会の企業の森

【企業の森・公益社団法人青梅法人会(長淵)】

青梅法人会の企業の森では、昨年の4月に協定延長を行い、新たに10年間のお付き合いが始まりました。

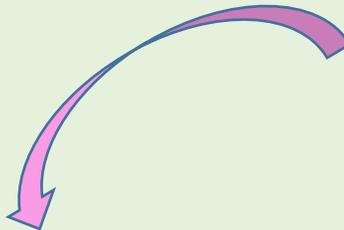
そして、今年の2月に除伐と根払い（枝打ち）が行われました。

除伐前の企業の森の見回りでは、あまりに木々がうっそうと茂っていたため森の中を歩くのも大変でした。

それが、ご覧ください！素敵に輝く森に変身しました。

青梅法人会では、会員の皆様が熱心に企業の森のお手入れをしています。

散策ができるような道も整備され、今春もスミレや桜、レンギョウ、ユキヤナギ等のたくさんの花が咲き誇っていました。そのまま山の頂上まで足を運ぶと、山全体がすっきりと明るくなった花粉の少ないスギ林全体を見渡すことができました。



除伐・枝打ち前



除伐・枝打ち後



(3) 除伐・大きなハチの巣を発見!

【企業の森・カナデン(青梅)】



こちらでも昨年協定延長を行い12年目を迎えようとしている(株)カナデンの企業の森。

2月に枝打ちを行い、森の中へ太陽の光が差し込む穏やかな明るい森へと変わりました。ただ、残念ながら昨年のごみの投げ捨てがあったことから、ごみを撤去した後、重点見回り箇所として点検を行ってきました。

現在はそんなこともなくなり、木もすくすくと育っています。これからの季節、吉野街道沿いにつくられた企業の森カナデンは、奥多摩方面へ観光に訪れる方々のお出迎えに一役買ってくれることでしょう。

枝打ちの際にこんな大きなハチの巣が発見されました。

住民のハチはすでに旅立った後でしたが、巣づくりを始める春から秋にかけてはハチに気をつけながら作業を行う日々が続きます。

なんと
人間の顔ぐらいのハチの巣



新しい巣をつくらなくちゃ!



右の写真の手前に写っているスギの木は、本来は根本から真っすぐと伸びることが望ましいのですが、残念ながら少し曲がっています。

まだ苗の状態の時、樹上に降り積もった雪の重みによるものと思われます。

降雪の折に雪の重みで曲ってしまった木を起こすことを雪起こしといいます。滅多にない作業ですが、この雪起こしをイベントとして、2014年、2016年と社員の皆様の手によって行っていただきました。おそらくこの1本は、その時にうまく起きなかった名残ではないかと思います。



2014年

育ちに関わった者として、見守っていきたいですね。



花粉の少ない森づくり運動 News & Information



「企業の森・東栄住宅（青梅富岡）」で
開始式を行いました



第1回 2022年5月25日

参加人数：54名

内容：開始式・植樹

（株）東栄住宅としては3つ目の企業の森となる青梅市富岡で開始式と植樹が行われました。

（株）東栄住宅の各部署から集まり結成された「企業の森応援隊」による企画・進行。隊員として選抜された若手社員の皆様の意気込みがうかがわれる式典となりました。

森林所有者様、（株）東栄住宅取締役の本多様、農林財団の岩瀬理事長による記念植樹及び看板の除幕式が行われ、その後、4つのグループに分かれて、暑い中、花粉の少ないスギ、ヒノキの苗を皆様熱心に植えられました。植樹後は、丸太切りにも果敢に挑戦し、汗を流していました。



いただいたアンケートより抜粋

- ・イベントに対して
「植樹作業は思ったより大変な作業かつ大切に木々が育てられていることを実感した」
「貴重な体験ができ楽しかった」
- ・木を多く使う会社として
「今後の業務に生かしたい」
「今後は木材を大事に使いたい」
「毎日扱う木材が多くの人の手で長い年月を経て作られていく大変さを実感した」

イベントに今後も参加したいなどのお声もあり、また生長した木々に会いにお越しください。森づくり運動担当一同お待ちしております。

本多取締役より、木を多く扱う企業として実際に木に触れ、育つまでの大変さや過程を体感し、その感性を今後の仕事に生かしてほしいとお話がありました。

【企業の森・いなげや(日の出)】で植樹(補植)イベントを行いました

第3回 2022年5月26日
参加人数：10名
内容：植樹(補植)

前日まで天気予報は雨マークでしたが、予報に反して気持ちのよい天候に恵まれ、青空の下イベントを行うことができました。

今回は、植樹作業以外に竹を伐るお手伝いも(株)いなげやの皆様にしていただきました。

その後は、指導員の林業にまつわる面白いお話などあり、なお一層森づくりに興味を持っていただけたのではないのでしょうか？



おいしそうな野イチゴを食べすぎて君は赤いの？
ごめんね、今日は君のごはんたくさん伐っちゃったよ。
実はこの『ベニカミキリ虫』竹が好物なんです！



「エコロじいの森(青梅黒沢)」で
下刈りイベントを行いました

第5回 2022年6月4日
参加人数：29名 内容：下刈り

6月に入り、心配されていたお天気でしたが、（このイベントの2日後に梅雨入りしました）青空となり、下刈り作業を行うことができました。4年ぶりに現地を訪れた社員の皆様は、すっかり生長したスギたちに驚いたのではないのでしょうか。

今回は自主開催も含め5回目となりますが、過去のイベントのほとんどにお子様も参加されています。



（株）NTTファシリテ

ィーズグループの掲げる環境テーマ「気候変動への緩和と適応、資源の循環、自然との共生」を次世代につなぐお子様たちと一丸となって皆様で体験していただいているようです。これからも、森づくりのイベントを大いに活用し、楽しんでいただきたいと思います。



今回のイベント わかりますか？

赤いヘルメットや黄色のピブスを着用している人たちがいます。拡大して見ないとわからないかな。。

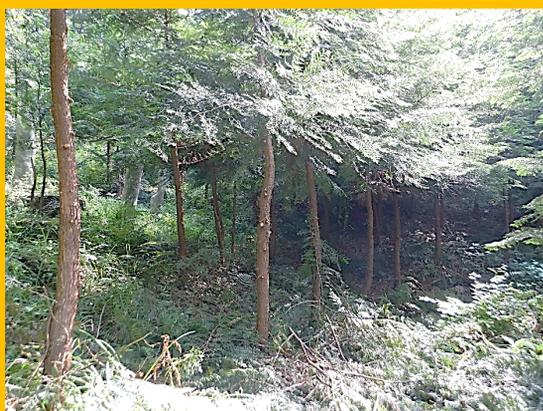


2018年 イベント こちらは人が並んで歩いているのがわかります。ほぼ同じ場所からの撮影



第7回 2022年5月21日
(自主イベント)
参加人数：43名
内容：根払い(枝打ち)

今回のイベントは、日本事務器(株)初の自主イベントでした。途中で雨が降り出し、慣れない作業に雨と大変でしたが、皆様の頑張りの結果、森がすっかり明るくきれいになりました。皆様お疲れさまでした。



かわいいけれど。。。
これも刈りました



第14回 2022年6月21日
参加人数：11名 内容：下刈り

青梅法人会では、独自に広葉樹のお手入れを熱心にされていることは本誌4ページですでお伝えしましたが、今回の自主イベントでも皆様熱心に下刈りを行っていました。

「この雑草なんだかかわいくて刈れないわー」と楽しそうにされている今回初参加の方や、慣れた手つきで刈る方など、さすが14回のイベントを誇る余裕の法人会の皆様でした。



ちょっと一休み 「暴れ木のお話」



2月

暴れ木！

企業の森の見回りをしていると、自然の不思議をたくさん見かけることができます。林業事業者の方に「暴れ木」といわれる木を教えてくださいました。

「暴れ木」とは、林業(素材生産)において、周囲の木に悪い影響を与える木のことをいいます。

主に周囲の木に比べて著しく生長が早い木で形の悪い気になることが多々あります。

成長量が著しい木は勢いよく太っていくため樹皮が弾けるように荒々しくなります。

また、成長が早すぎると内部の組織が柔らかくなるので腐りやすいともいわれています。

将来の価値が見込めず、除伐や間伐の対象になることが多い木です。

初期成長が早いため、早期の収穫ができるメリットはありますが、良質な材は見込めません。

この木も周りの木と林齢は変わらないのですが、幹の太さはかなり違っています。同じ環境なのに不思議ですね。

そこで、実際に暴れ木と12年目の平均的に生長しているスギの木の幹の太さを比べてみました。



結果発表！

暴れ木 外周76cm 直径約24.2cm

平均木 外周33cm 直径約10.5cm

調査というにはお粗末ですが、平均的な12年目の木の2倍以上の太さという結果となりました。

恐るべし暴れ木！

伐採してから4か月後の切り株は、空気や雨にさらされ、コケも生えずに貫禄十分な気配を漂わせていました。



調査開始！



6月

林業でおなじみピンクテープで外周を囲み



平均的な太さのスギの木にも巻きつけます。テープの長さを測って比べてみると・・・

